

うえだ オレンジベスト 見守り 情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和6年11月10日 R6-4号

11月 全国 子ども・若者育成支援強調月間

家庭、学校、地域住民、企業、団体及び行政が一体となり青少年の健全育成意識の高揚を図る啓発の取組が全国・県下一斉に行われています。

上田市では、11月1日(金) 強調月間初日の朝、上田駅前啓発のポケットティッシュを配って声かけを行いました。少年育成センター(上田市教育委員会)が中心となって、上田警察署・駅前交番・県上田地域振興局・少年補導委員会役員の皆さんに御協力をいただきました。



11月は「子供・若者育成支援推進強調月間」です
**大人が変われば
子どもも変わる**
(駅前掲示横断幕 メッセージ)

上田駅前啓発活動 伸びよう 伸ばそう 青少年 … 青少年は地域社会からはぐくむ

大人の責任として「NO! 性被害」「NO! ネット被害」「NO! 万引き」、「悩みの相談窓口」等のメッセージをティッシュに折込み、啓発しました。

上田駅前パレオビル2階テラス通路南面には、活動を広く知らせる横断幕が一か月間掲示されます。

オレンジベスト見守り隊 (愛称) 活動 展開中

定期街頭活動 (年間)

月に1回を目安に、各班3~5人で街頭の巡回や訪問(見守り活動)をしています。近隣の学校と連携して「あいさつ運動」も実施しています。

・合同巡回 (8月を中心に12月までの間、定期街頭活動の中で1回程度)

幅広く地域の方(自治会、分館、PTA 関係者、子ども会関係者、防犯担当者等)に可能な範囲で協力(同行)をいただき、定期街頭活動をします。

・環境チェック活動 (7月から11月までの間、定期街頭活動の中で店舗の都合に合わせて実施)

地域の方にも協力をいただき、一緒に地域内の店舗等を訪問し、チェックカードを用いて、店舗や青少年の様子聞き取りをする定期街頭活動です。

地域見守り懇談会 (6月から11月までの間、年1回)

学校管理職・学校関係少年補導委員の協力を得て中学校区の単位で開催する学校とオレンジベスト見守り隊との懇談会です。学校・地域の状況や問題・課題を共有して学校との連携・見守り活動の充実に努めています。

地区懇談会

日ごろの活動について、少年育成センターとオレンジベスト見守り隊との情報交換を適宜行っています。(令和6年8月~令和7年2月)

少年育成センター活動 (年6回実施 郊外班代表が年1回参加)

市街地域と郊外のオレンジベスト見守り隊とが共通認識を持つことを目的として、少年育成センターが計画する活動です。指定された班の代表者が参加します。

夜間巡回活動 (夏季2回実施 市街地指定班が年1回参加)

近隣高校の文化祭準備日程にあわせて少年育成センターが計画し、指定班の皆さんに参加をいただき夜間の巡回を行います。

上田駅前パトロール (市街地指定班が年1回参加)

防犯協会からの依頼に基づき、指定班の皆さんに参加協力をいただきます。

総会(年1回) 全体研修会(年2回)
理事会(年4回) 地区会長・班長会(年2回) ……が開催されています



令和7年4月より

少年補導委員 は **こども安全安心見守り委員** に名称が変わります

愛称は 「オレンジベスト見守り隊」 です (変更はありません)

広報うえだ 10月号に記事が掲載されていますので そちらもご覧ください

「こらんだむ」代表理事 市村 均光 ICHIMURA Tadamitsu 氏 web サイト より

2015年 NPO 法人「ターサ・エデュケーション」を設立。

2016年 フリースクール「こらんだむ」開校

「こらんだむ」には、2つの想いが…

1つめは、子どもには規則性はないという想いで 子・ランダム

2つめは、ダイヤモンドを磨く鉱石の名称が コランダム

この場所で光り輝く原石である子どもを、丁寧に磨きあげていきたい。

楽しく価値ある時間を子どもたちと一緒に作りあげています。

<https://www.korandom.com/>

相談は LINE ID : @korandom

<https://page.line.me/?accountId=korandom>

TEL 027-226-5243

平日 10:00~15:00 * それ以外はフォームか LINE からご連絡ください。

TAASA
EDUCATION

k o r
a n d
m



こらんだむ

ある日の過ごし方



子どもの自信と意欲をよみがえらせる 多様な学びを踏み出す 1歩目の居場所に…

私たちは、学校に行けない自分を責め悩む子どもたちが
当たり前には持っていた、笑顔や自信、意欲が戻ってくるのが
最も大切であると考えています。

子どもや保護者の皆様に「こらんだむがあっただけよかった」と思っただけのよう、子どもが健やかに育つお手伝いをさせていただきます。

上田市少年補導委員会 ・ 少年育成センター

視察研修 子どもたちの新たな居場所を創るフリースクール訪問 10月7日(月)

群馬県前橋市

こらんだむ『korandom』(前橋校)

フリースクールこらんだむは、子どもを育てる場所ではありません。

しかし、子どもが育つ場所です。

多種多様な人との関わりや、さまざまな体験活動をとおして自己肯定感が向上し、社会性や意欲が育まれていきます。

安心して過ごせる居場所…

多様な価値観を受容し、一人ひとりに寄り添うことを大切にしています。

子どもにも大人にも、違った個性や感性、ペース、趣味があります。それぞれが向いている方向は違っても、お互いの違いを認め合える環境づくりと子どもの気持ちに寄り添った支援によって、安心して過ごせる居場所をつくっています。

やりたいことが応援される居場所…

一人ひとりの興味関心に寄り添い、実行に向けたサポートをしています。



大人が導くのではなく、子どもがやりたいことをどうしたら実現できるのかを一緒に考え、大人が伴走します。主役は子ども一人ひとり。大人は子どもたちの応援団であり、サポーターです。

自分の意思が尊重される居場所…

子どもは自由に過ごし方を決めることができます。

話すも OK。学習も OK。プログラム参加も OK。

遊びも OK。何もしないことも OK。

子どもの意思が尊重されます。

何かみんなでやりたいときは、全員が参加できる「ミーティング」で、自分の意見を伝え、実現することもできます。

視察研修をとおして



こらんだむは、子どもたちの「精神的な自立・生活面の自立」を大きな目標に据え、大人と一緒に活動することで、子どもの笑顔、家族の笑顔をよみがえらせ、子どもの内発的な自己肯定感や意欲、社会性、生きる力の獲得を目指して運営されていることを知りました。

フリースクールに参加する子どもからは利用料を徴収しています。足りない資金は寄付や各種助成、ボランティア人脈に頼る自転車操業的な運営面についても市村代表から直接うかがいました。

変化する社会、子どもを取り巻く環境変化の中で、手探りながらも理念と信念をもって活動するスタッフの皆さん、そして楽しそうに活動する子どもたちと触れ合う時間から「フリースクール」という名称だけではうかがい知ることのできない温かな環境に共感する視察研修でした。

下記を参考に、各班で活動の計画をよろしくお願いします。

1日 東部 A B	6日 北部 A B	11日 中塩田 A B	16日 依田 長瀬 塩川
2日 神川 A B	7日 西部 A B C	12日 西塩田 別所温泉	17日 長 傍陽 本原
3日 南部 A B	8日 城下 A B	13日 川辺泉田 A B C	18日 武石
4日 中央 A B	9日 神科 A B	14日 川西 内村	
5日 塩尻	10日 豊殿 東塩田	15日 丸子中央 A B	



お知らせ 掲示板

11月 子ども・若者育成支援強調月間

- 11/1 (金) 子ども・若者育成支援強調月間駅前啓発活動<地域振興局・正副会長・特別・事務局>
- 11/2 (土) 長野県青少年健全育成県民大会 中野市<希望委員>
- 11/8 (金) 少年育成センター活動「地域と学生の連携拠点・繁華街」<指定班>
- 11/28(木) 地区会長・班長会<中央公民館>
- 1/23 (木) 理事会<市役所>
- 2/6 (木) 少年育成センター活動「こども食堂(予定)」<指定班>
- 2/27 (木) 全体研修会<上田文化会館・中央公民館> オレンジベスト・帽子の返却を予定しています

毎月 第三日曜日は
「家庭の日」 です

(#^_^#) フリースクール って? (。^。^。)

「フリースクール」(通称)は **学校教育** 法上の『**学校**』では無く、明確な定義・設置基準・申請等はありません。
(学校に行かない子どもたちが通う) **民間の学びの場**を広くそう呼んでいます。

フリースクールへの登校(参加)が学校出席と扱われるためには…

- ・フリースクール等の外部の機関が、(児童生徒が在籍する) 学校・保護者と正式に連携がとれていること
 - ・学校の校長がフリースクールでの活動を認めていること
 - ・登校を希望した時は、円滑な復帰が可能な支援を行っていること
 - ・外部機関での相談・指導が社会的な自立を目指していること
- などが要件となります。
(文部科学省 https://www.mext.go.jp/content/1422155_001.pdf)

無条件で出席扱いが認められるというわけではなく、児童生徒が在籍する学校で「学校外の活動を評価し卒業のための単位として認可(受理)」されると出席と扱われます。



少年補導委員の活動紹介

少年育成センター活動A <イオンスタイル・市街地> 9月11日(水)

7月のサントミューゼ・アリオ上田 訪問に続き、9月は イオンスタイル上田店の訪問と市街地通学路の巡回を行いました。

イオンスタイル上田店は、**青少年健全育成協力店**としてモール全体で指定協力をいただいています。

当日は、最初に販売促進課長様より青少年の店舗利用についてお話をうかがいました。

その後、塩川班・長瀬班の代表委員の皆さんと一緒に店内の若者に声かけをしながら、6つのテナントを訪問して近況をうかがいました。

モールは、『**クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)**』に指定された受入れ数最大の店舗です。

市街地巡回マップ



フードコートで本を広げる若者や高齢の方々・ベビーカーを押してゆっくり買い物する女性の姿から、時代やニーズに対応した現代のショッピングモールの環境や役割を感じた訪問でした。

